

部屋単位での耐震補強を実現する木質耐震シェルター

建物全体を耐震化するよりもローコストで安全性を確保できる建物内シェルター



木質耐震シェルター 70K



耐震実験の様子(大地震時にも安全な設計基準を定め実験にて検証)

建物の中に安全な空間を確保し、大地震時に建物が倒壊しても避難することができる避難施設。「耐震100パーセント実行委員会」が設計基準を定め、安全なシェルターを提供します。

既存住宅の地震対策は耐震補強が効果的ですが、経済的な理由で大がかりな耐震改修が出来ない場合があります。そこで、「一般社団法人耐震100%実行委員会」は、部屋単位での耐震補強を実現する「木質耐震シェルター 70K」を、株式会社エヌ・シー・エヌとの共同開発により商品化。間口が広くとれるラーメン構造を活用することで、従来の耐震シェルターの短所とされていた居住性やデザイン面での欠点を大幅に改善しつつ、短期間での施工、及び、高い耐震性能を確保しました。

〔しくみ〕

地震による家屋の倒壊から一定の空間を確保し命を守ることができる「耐震シェルター」を開発。寝室などの個室、リビングルームなど、既存住宅内の部屋単位で設置することができるため、大掛かりな耐震改修工事と比べて短期間で設置が可能であり、居住しながらの工事も可能です。シェルターのサイズは3種類。標準的な4.5畳、6畳、8畳を基本ユニットとしています。施工においては実際の間取りと微調整を行いながら必要な部屋に設置いたします。

〔特徴〕

- 必要な部屋単位での耐震補強が可能
- 部屋のサイズに合わせた施工が可能
- 短い工事期間
- ローコストでの耐震改修

〔事例〕 岐阜県T邸での事例



岐阜県T邸 (2019年12月設置)



〔 一般社団法人 耐震100%実行委員会 について 〕



「耐震住宅100%実行委員会」は、日本における真に品質の高い耐震住宅の普及や、人々が安全で幸福に住まうことができる住環境のさらなる向上を目的として2017年9月1日に一般社団法人化いたしました。日本全国の工務店及び住宅関連企業の賛同と緊密な連携のもとで、地震が起きた後で人が死なないための家と町をつくり続けていきます。

- ・ **会社名** : 一般社団法人 耐震100%実行委員会
- ・ **所在地** : 東京都港区港南1-7-18 A-PLACE品川東 (株式会社エヌ・シー・エヌ内)
- ・ **設立** : 2017年9月1日
- ・ **事業内容** : 日本国内における法規制等に対する検証と具体的政策提言事業
新たな耐震基準の策定事業
耐震性能の向上に資する技術研究事業
住宅の耐震化に関する普及啓発事業
耐震住宅の普及・国土強靱化のための公益信託事業
前各号に掲げるもののほか、当法人の目的を達成するために必要な事業
- ・ **ウェブサイト** : <https://www.taishin100.or.jp/>